



# ASNITE-Pの 利用・活用事例

～信頼ある製品を提供するために～

2022年3月

独立行政法人製品評価技術基盤機構  
認定センター (IAJapan)



# 認定事業者とSDGs

IAJapan認定事業者は、以下のSDGs目標に貢献しています。



これらは全ての認定事業者に共通する目標であり、認定事業者の活動は、それ以外にも活用分野毎に様々なSDGs目標に貢献しています。

活用事例毎に、特に関係の深いと思われるSDGs目標を表示しています。

## 【各活用事例の見方】

**ガス栓分野の適合性検査制度**

- ◆ ガス栓分野の適合性検査制度は、「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」（液石法）に基づき、ガス栓の適合性検査を申請する製造事業者等に対し、製品検査や検査設備等を評価し、適合性証明書を発行する制度です。
- ◆ 液石法では適合性証明書を発行する登録検査機関（認証機関）はISO/IEC 17065に適合することが求められており、本制度を運営する（一財）日本エルピーガス機器検査協会は、IAJapanからのISO/IEC 17065認定により、適合性検査活動を行う十分な能力をもつ信頼できる機関として証明されています。認定をとおして、適合性検査制度の更なる信頼性向上に貢献しています。

○窓口  
認証機関名：一般財団法人日本エルピーガス機器検査協会  
URL：<https://lia.or.jp/>

＜適合性検査制度の概要＞

国内市場で流通するガス栓の信頼性向上を通じて、LPガスの安全な使用に貢献しています。

IAJapan認定事業者共通のSDGs目標

個別の事例毎に関わりの深いSDGs目標の表示  
(例) 目標9：強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業課の促進及びイノベーションの推進を図る  
目標11：包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間移住を実現する

【IAJapan ホームページ】 認定×SDGs

[https://www.nite.go.jp/iajapan/aboutus/pr/SDGs\\_index.html](https://www.nite.go.jp/iajapan/aboutus/pr/SDGs_index.html)

# ガス栓分野の適合性検査制度



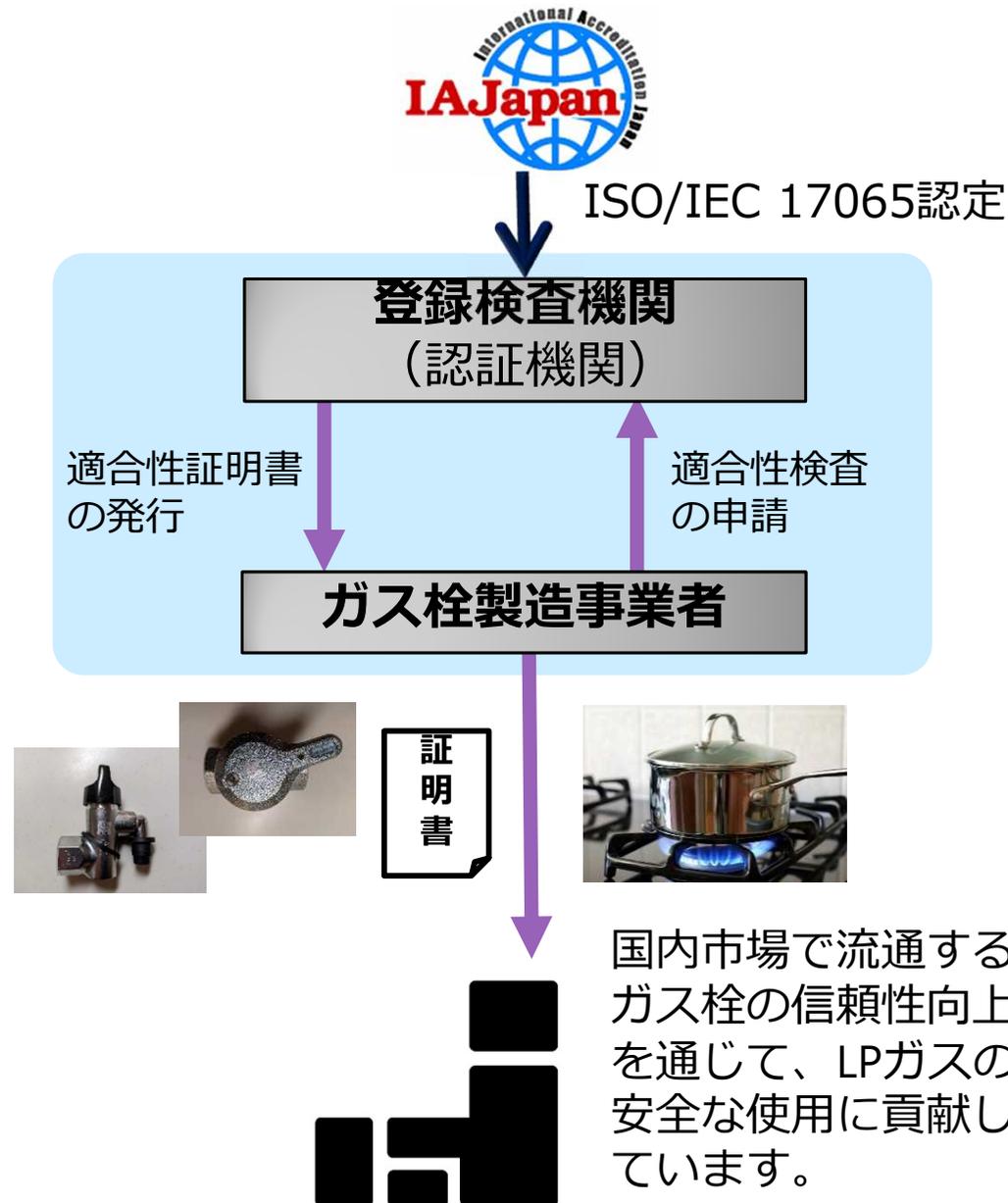
- ◆ **ガス栓分野の適合性検査制度**は、「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」（液石法）に基づき、ガス栓の適合性検査を申請する製造事業者等に対し、製品検査や検査設備等を評価し、適合性証明書を発行する制度です。
- ◆ 液石法では適合性証明書を発行する登録検査機関（認証機関）はISO/IEC 17065に適合することが求められています。本制度を運営する（一財）日本エルピーガス機器検査協会は、IAJapanからのISO/IEC 17065認定により、適合性検査活動を行う十分な能力をもつ信頼できる機関として証明されています。認定をとおして、適合性検査制度の更なる信頼性向上に貢献しています。

## ○窓口

認証機関名：一般財団法人日本エルピーガス機器検査協会

URL: <https://lia.or.jp/>

## ＜適合性検査制度の概要＞



国内市場で流通するガス栓の信頼性向上を通じて、LPガスの安全な使用に貢献しています。

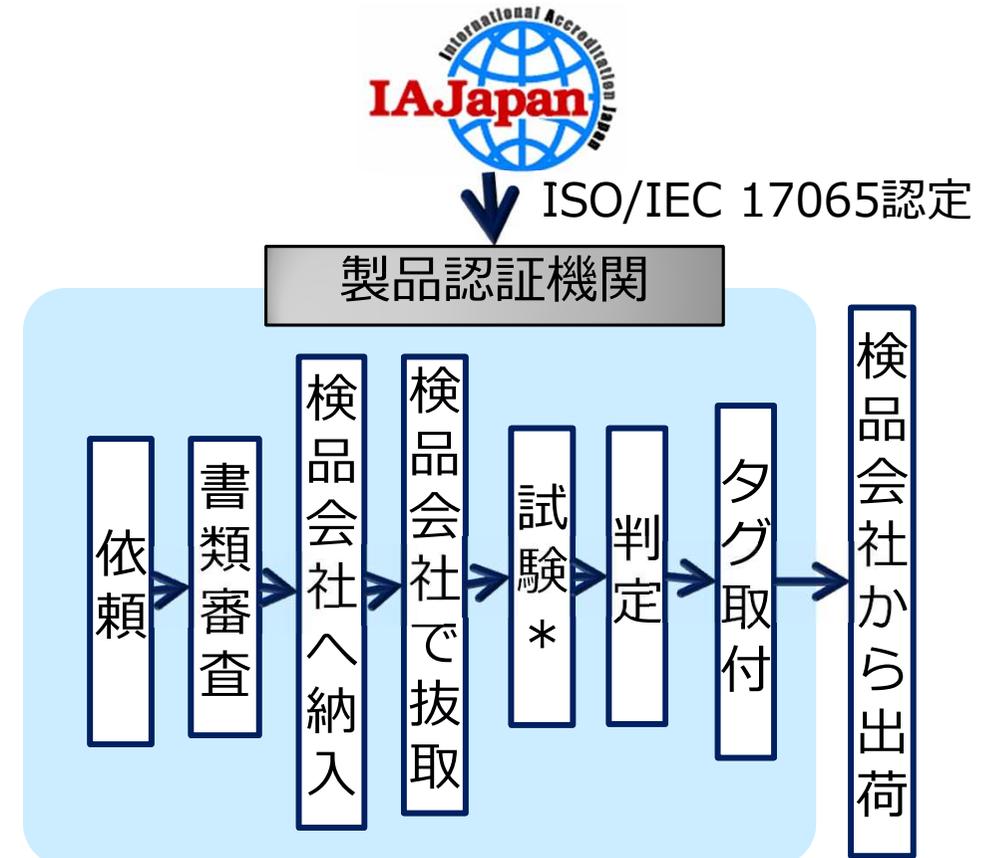
# カシミア100%タグ制度



◆ **カシミア100%タグ制度**は、カシミア製品の試験鑑定を行い、「カシミア100パーセント」の表示に相当する製品であると識別した場合に、その製品に取り付けるタグを発給する認証制度です。カシミア製品の偽装表示を背景として、本物のカシミアを消費者が見分けやすくするために構築されました。

◆ (一財)ケケン試験認証センターは、IAJapanからISO/IEC 17065に基づき認定されています。認定により、本認証活動を行うための十分な能力をもつ信頼できる製品認証機関として、カシミア100%タグの信頼性向上に貢献しています。

＜カシミア100%タグ制度の概要＞



\* ISO/IEC 17025の要求事項を満たした試験所でJIS L 1030-1及びJIS L 1030-2に基づく混用率の試験鑑定を実施することになっており、JNLA認定試験所も活用されています



○窓口

認証機関名：一般財団法人ケケン試験認証センター  
URL:[https://www.jwif.org/service/tag\\_system/](https://www.jwif.org/service/tag_system/)

カシミア100%タグの例

# 鉄道製品輸出のための認証



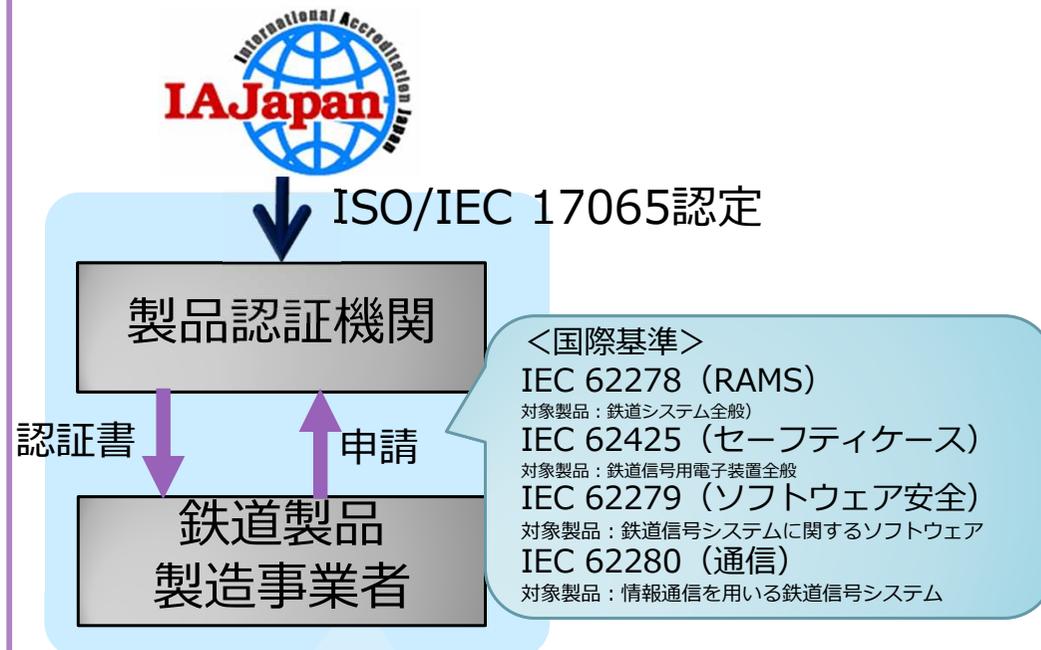
- ◆ 信号システムをはじめとした日本の鉄道製品は世界的に優れており、海外への輸出が進められています。
- ◆ これらを海外市場に輸出する際、国際基準に適合した認証書が要求されることがあります。これら認証書を発行する製品認証機関は、ISO/IEC 17065認定を取得することで、信頼性が確保されています。
- ◆ (独)自動車技術総合機構 交通安全環境研究所 鉄道認証室 (NRCC) は、IAJapanからISO/IEC 17065に基づき認定されています。認定により、我が国初の鉄道分野の認証機関として、日本製品の信頼性向上、海外展開に貢献しています。

## ○窓口

認証機関名：独立行政法人自動車技術総合機構  
交通安全環境研究所 鉄道認証室

URL:<https://www.ntsel.go.jp/certification.html>

＜鉄道分野での認定活用について＞



認定シンボル付きの認証書



認定された認証機関が認証した信号システム  
(写真提供：日本信号株式会社)

# OIML-CS制度



◆ **OIML-CS制度**は、OIML 国際勧告に基づき、食品売場や調剤薬局で使用されるはかりなどの計量器の証明書を国際相互受入れするための国際的な証明書制度です。本制度において、証明書発行機関はIAF MLA署名の認定機関からのISO/IEC 17065認定の取得等が求められています。

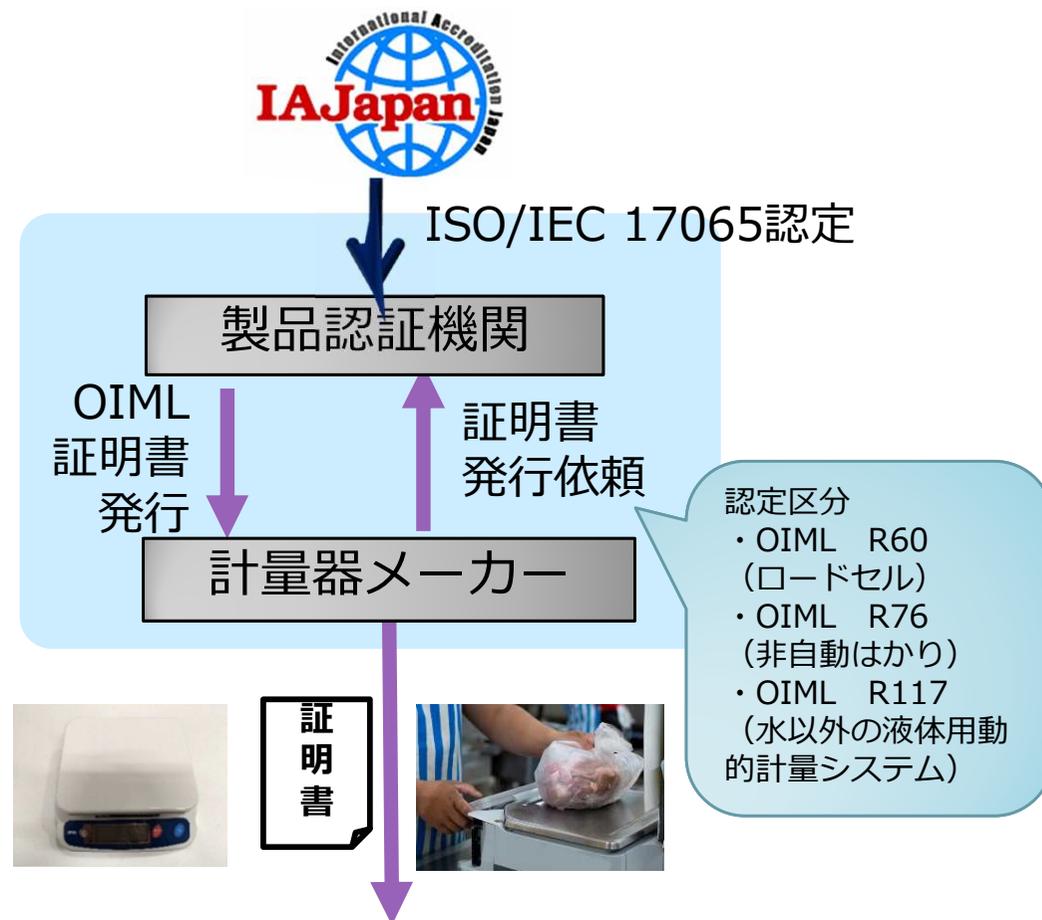
◆ (国研) 産業技術総合研究所は、IAJapanからの認定に基づいてOIML-CSの証明書発行機関として登録されました。これにより、OIML-CS制度参加国間同士で手続きが簡略化され、計量器の国際貿易の円滑化に貢献しています。

○窓口

認定機関名：国立研究開発法人産業技術総合研究所

URL:<https://unit.aist.go.jp/qualmanmet/metrolqual/legal/>

## <OIML-CS制度の概要>



円滑な国際取引に貢献

# Textile Exchange\* 認証制度

\*TE:テキスタイルエクステンジ



- ◆ **Textile Exchange (TE) 認証**は、地球環境に優しいオーガニックコットンやリサイクル繊維、動物福祉に配慮されたウールやダウンを使用したアパレル製品などを対象とした、SDGs（持続可能な開発目標）達成に貢献できる国際的な認証制度です。TE認証機関は、認定機関よりISO/IEC 17065認定を取得することが求められており、IAJapanはTE認証制度上の認定機関となっています。
- ◆ （一財）ケケン試験認証センターは、IAJapanからISO/IEC 17065に基づき認定されています。この認定により、我が国初のTE認証機関として、2021年4月より日本で認証活動を開始しています。

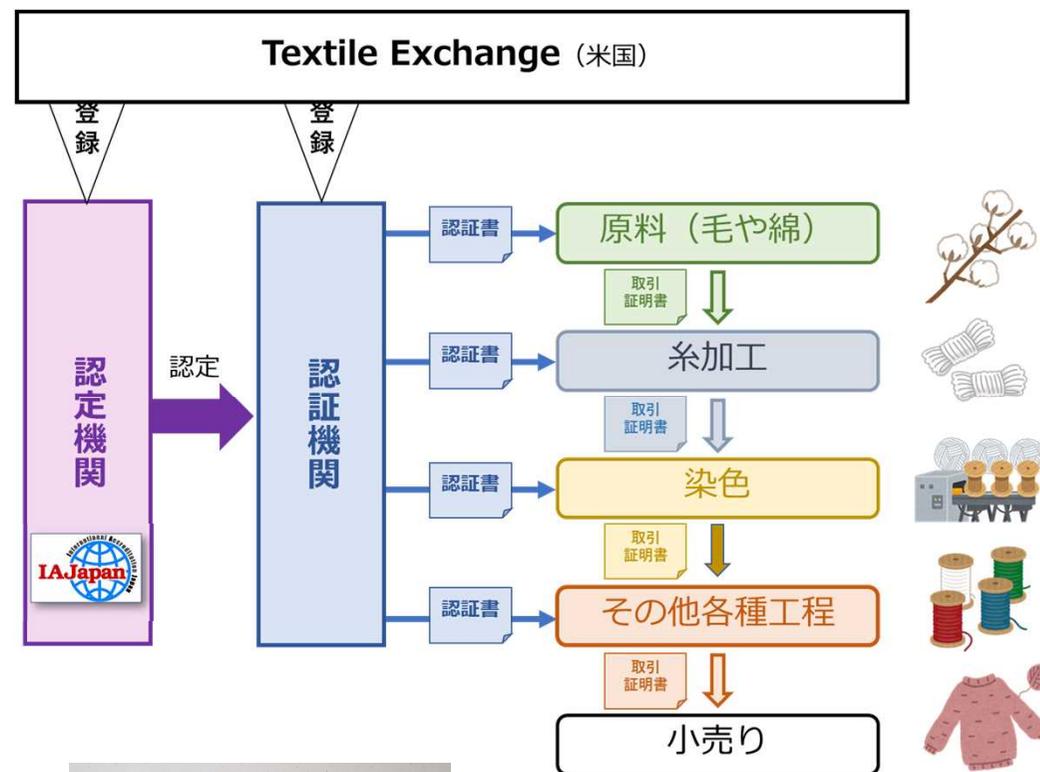
## ○窓口

認証機関名：一般財団法人ケケン試験認証センター

認証区分：GRS、RCS、CCS

URL：<https://certification.jwif.org/>

## <Textile Exchange認証の概要>



認証製品を識別するためのマーク (OCSの場合の例)